

WEBRONZA > 政治・国際 > 記事一覧 > 記事

テーマ 「お試し改憲」と安保法制、安倍政権の軽さ

編集部のおすすめ

政治・国際

憲法改正に「お試し」はあり得ない(上) 「慣れる」「味わう」「植えつける」……自民党の憲法感覚を問う

水島朝穂

羽生はもう大丈夫だ
彼の望んだ、時代を作るチャンピオンになれる



教室 だから分かることがある。

ネットとリアルをつなぐ講座

WEBRONZA / 朝日カルチャーセンター 朝日JTB 交通文化 提携開催

憲法

2015年05月26日

ツイート 33 シェア 0 G+ 0 印刷

憲法改正は「慣れる」「味わう」「植えつける」ものなのか

「憲法96条先行改正」が頓挫し、2013年参議院選挙で「ねじれ解消」を達成した後、安倍晋三首相は96条を前面に出すことを控える「96条潜行改正」、すなわち「解釈改憲」に重点を置くようになる。

特定秘密保護法の制定(2013年12月)、武器輸出三原則の撤廃(2014年4月)、そして集団的自衛権行使容認の閣議決定(同年7月)と、それぞれに一内閣を必要とするほどの大転換が短期間に、一気に行われていった。

そして、その「7.1閣議決定」を具体化すべく、5月26日から国会で安全保障法制の審議が始まる(この問題について詳しくは、拙著『ライブ講義 徹底分析! 集団的自衛権』岩波書店、2015年参照)。

こうした「解釈改憲」を進める一方、2015年5月に入り、衆議院憲法審査会で本格的な議論が始まった。「解釈改憲」と「明文改憲」の二兎を追う戦略なのか。



傍聴人も多く集まった衆院の憲法審査会=2015年5月7日

それでも、衆参両院の憲法審査会では、改憲についての対応は微妙に異なる。

3月4日の参議院憲法審査会には、筆者も参考人として招致されたが、「憲法とは何か」というごく一般的なテーマで、予定時間を20分もオーバーして行われた(詳しくは、[直言「参議院で『憲法とは何か』を語る」](#)2015年3月16日参照)。

これに対して、衆院の憲法審査会の方では「合意を得やすい」条文の選定に入っている。

自民党憲法改正推進本部長の船田元氏は、「国民が憲法改正に慣れることが必要だ」と述べつつ、同時に、「憲法改正の最初の発議を2年以内に行い、2回目の発議で9条の改正を実現したいと意欲を示した」という(「テレビ朝日」3月26日8時のニュース)。「2年以内に9条改正」と、この時点ではかなり前のめりだった。

最新ランキング 週間ランキング

1万回を迎えた『徹子の部屋』のテレビ的優… 太田省一

黒柳徹子さんがもつ類いまれな美点とは? 矢部万紀子

住民投票で政治のタレント化を乗り越えた大… 五野井郁夫

いつでも平常心を保つのが黒柳徹子のえらい… 青木るえか

安保法制と、「#首相官邸を包囲せよ」の意… 五野井郁夫

もっと見る

テーマランキング

文化・エンタメ 「徹子の部屋」が1万回続いた理由

政治・国際 戦闘機F35、三菱重工業が参画しない理由

政治・国際 「お試し改憲」と安保法制、安倍政権の軽さ

社会・スポーツ 橋下劇場が終わった「大阪都構想」敗北の後

5月に入り、9条改正をすぐに押し出すのではなく、まずは「合意を得やすい」条文を選定して改憲に着手するという「改憲2段階構え」(『朝日新聞』5月8日付一面トップ)の戦略を打ち出した。具体的な条文としては、(1)緊急事態条項、(2)環境権、(3)財政規律条項の3つが挙げられている。

この動きが出てきたとき、それを「お試し改憲」と最初に皮肉ったのは、『朝日新聞』3月27日付夕刊の「素粒子」だったように思う。『「八紘一宇」も『我が軍』にしても。当の国会の反応の鈍さよ。このふんではいずれお試し改憲も『まいつか』』。

その後、「お試し改憲」という言葉は、メディアで広く普及していく。

本家の「素粒子」は5月8日付夕刊で「通リゃんせ」の歌にひっかけて、再度これに触れた。「一度はよいよい、二度目は怖い。『お試し改憲』の通リゃんせ。戦後70年のお祝いに9条の改正目指して参ります」と。

かつて『論座』(朝日新聞社)2004年2月号に、当時自民党幹事長だった安倍晋三氏の「9条改憲論の研究」が掲載された。「第三の憲法を白紙からつくりたい」というタイトルのインタビュー構成で、私は編集部からこれを批判する原稿を依頼された。そこで、翌月号に「[理念なき改憲論より高次の現実主義を——「9条改憲論の研究」私はこう読んだ](#)」を書いた(『論座』[朝日新聞社]2004年3月号、184-191頁)

荒れた言葉

あれから11年。安倍氏は第二次安倍内閣の首相であり、憲法改正のリアリティは当時の比ではない。

11年前、安倍氏は、改憲が必要な理由として、時代にそぐわない条文や、新しい価値観が生まれているなかで見直しが必要な条文があることを指摘するとともに、集団的自衛権を行使できるようにすることで、日米関係は対等になるとの見通しを語っていた。

そして、『われわれの手で新しい憲法をつくっていこう』という精神こそが、新しい時代を切り開いていくとか「澆刺とした気分を醸成していくため」と述べている。

私はこれを、「国の基本を定める法を変えるという議論にしては、あまりに情緒的である」と批判した。安倍氏の改憲主張の観念的、抽象的、情緒的な特質はいまも変わらず、「説得力を欠く安倍改憲論」という11年前の特徴づけを修正する必要性を認めない。

ただ、当時と異なり、憲法や9条についてそれなりの見識をもっていた自民党議員たちはことごとく姿を消して、いまや安倍氏の主張に「右へ倣え」の空気が自民党内を覆っている。

しかも、国会で圧倒的多数を占めるおごりのあらわれだろうか、憲法改正という重要問題と向き合うにしては、言葉の使い方が粗雑で、議論の進め方に強引さが目立つ。

官邸や自民党幹部の口から、改憲についての荒れた言葉が繰り出されてくるのには驚かされる。

例えば、憲法改正推進本部事務局長の磯崎陽輔氏は、「憲法改正を国民に1回味わってもらおう。『憲法改正はそんなに怖いものではない』となったら、2回目以降は難しいことを少しやっつけていこうと思う」と述べた(『朝日新聞』2月22日付第4総合面)。

また、同本部長代理の古屋圭司氏はいう。「全力で国民を啓蒙し、憲法改正の正しい理解を国民にしっかり植えつけ、国民投票が実現した時には、絶対に過半数を」(『東京新聞』5月4日付)と。「しっかり植えつけ(る)」とはすごい言葉である。

「慣れる」「味わう」「植えつける」という言葉がどういう印象や効果を及ぼすかということへの想像力を欠いたまま、当事者たちはいたって真面目にこの「二段階戦略」を説いている。



社会・スポーツ

体操の王者・内村航平の独壇場の境地とは

もっと見る



WEBRONZAまとめ



そもそも民主主義とは
集団的自衛権と民主主義、そして憲法を根本的に考えます



最新記事

政治 経済 社会 科学 文化
国際 雇用 スポーツ 環境 エンタメ

[2]「教養」とは何か——合理性と科学性
佐藤優 2015年05月28日

憲法改正に「お試し」はあり得ない(下)
水島朝穂 2015年05月27日

憲法改正に「お試し」はあり得ない(上)
水島朝穂 2015年05月26日

安保法制と、「#首相官邸を包囲せよ」の意味
五野井郁夫 2015年05月26日

世界は憲法を使っている(下) チリ編
伊藤千尋 2015年05月25日

もっと見る

筆者一覧



編集部から

姜尚中さん「漱石『それから』の今とそれから」
2015年05月11日

朝日カル講座「資本主義の200年」にご招

だが、「お試し改憲」と揶揄されてしまう「二段階戦略」という手法そのものがいかにも姑息であり、政治家たちの言葉には、国民を見下したと受け取られかねない表現が目立つ。

待
2015年05月10日

案の定、「二段階戦略」に対する国民の評判はよくない。(つづく)

春のプレゼントキャンペーン(締め切り
5/8)
2015年04月17日

ツイート 33 | シェア | 0 | 8+1 | 0

関連記事

レコメンドシステムによる自動選択

Journalism 全面改憲への陶醉は危険だ 長い時間軸をふまえ、徹底した議論を
杉田敦 2013年10月16日

政治・国際 憲法96条改正はなぜ問題外なのか？(上)——三つの疑問
木村草太 2013年05月25日

政治・国際 憲政とは何か？——イデオロギーを超えて、これからの「憲法」の話をしよう
小林正弥 2013年05月03日

政治・国際 [4]徴兵制導入の必要論と可能論
小林正弥 2014年07月31日

政治・国際 麻生発言と政治エリートの反知性主義
佐藤優 2013年08月10日

筆者

水島朝穂(みずしま・あさほ) 早稲田大学法学学術院教授
早稲田大学法学学術院(法学部、大学院法学研究科)教授。1953年生まれ。専門は憲法学、法政策論。法学博士。『ライブ講義 徹底分析！ 集団的自衛権』(岩波書店)、『はじめての憲法教室——立憲主義の基本から考える』(集英社新書)、『伊藤真が問う日本国憲法の真意』(共著、日本評論社)など単書、編著、共著多数。

テーマ



政治・国際 「お試し改憲」と安保法制、安倍政権の軽さ



政治・国際 憲法で考える、憲法を使う



政治・国際 大澤真幸×木村草太が考える憲法

ページトップへ戻る

朝日新聞デジタルの関連サイト
有料会員は追加料金なしでご利用可能。詳しく>>

朝日新聞社から
会社案内
CSR報告書
採用情報
記事や写真利用案内
新聞広告ガイド

デジタル事業から
デジタルサービス一覧
携帯サービス
Astand(コンテンツ販売)
法人向け配信
写真の購入案内
記事データベース案内

グループ企業
朝日新聞出版の本
朝日新聞出版(dot.)
朝日インタラクティブ

各国語サイト
The Asahi Shimbun English Web Edition
Asahi Weekly
The Asahi Shimbun AJW Forum
Asahi Shimbun English-language Publication
CNN.co.jp
朝日新聞中文網
アサヒ・アジア・アンテナ
ハフィントンポスト日本版